

議員氏名：浜井 直彦

議案番号：議案第22～26号

案件名：令和7年度二宮町一般会計予算

令和7年度二宮町国民健康保険特別会計予算

令和7年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算

令和7年度二宮町介護保険特別会計予算

令和7年度二宮町下水道事業会計予算

討論内容：

私は、「議案第22号、令和7年度一般会計予算」について反対、「議案第23号、令和7年度国民健康保険特別会計予算」、「議案第24号、令和7年度後期高齢者医療特別会計予算」「議案第25号、令和7年度介護保険特別会計予算」について賛成、「議案第26号、令和7年度下水道事業会計予算」について反対の立場で討論いたします。

二宮町では令和6年8月に台風10号の接近に伴う豪雨により、町の中心地を南北に流れる葛川が溢水し、甚大な被害が発生しました。隣接する県道では、道路一面濁流に覆われ、かつて見たこともない水位まで上昇して、発災時間が早朝ということもあり大きな人的被害が無いのが奇跡のようでした。そのような中での令和7年度予算案です。

町の主要施設である、消防庁舎の大規模改修工事が二か年継続事業として令和7年度工事完了予定で進んでおり、一日も早い消防及び防災体制、機能強化が待ち望まれています。一方で、令和6年度の救急車の増強をはじめ近年は消防車両の更新も続いており、必要な装備とは理解するものの高額となります。町の緊急事態発生時は最前線となり要の部署です。更新計画を進めていく中でも、近年の各部品精度の向上や自動車そのものの長寿命化している背景から、過去からの慣例にとらわれず現状を精査して、期待を込めてさらなる工夫を望みます。

台風10号の教訓として町の防災対策のより一層の向上を進めていくなかで、新年度より町の一部組織が変更になり、町民部が新設され各課横断的な連携、取組みを行うとの事だが担当部署の問題意識向上も強く願う。庁舎もそうだが、外見や枠組みだけ変えても全て解決とはならない。DXの推進やLINEの活用など電子機器は業務効率は良くなるが、機材故障や電源喪失時などのアナログ的対応も同時に考慮して、さらに踏み込んだ危機管理対策を講じるべき。

新年度はこどもまんなか元年とのキャッチフレーズをうたっていますが、残念ながら目立ったこども施策がわかりませんでした。新庁舎整備事業について、建設予定地の購入が議決され、新年度からは実施設計へと更に進み、詳細な内容が明らかになっていく過程で、建設予定価格の更なる上積みや建設資材の遅延などによる工事スケジュールの長期化が懸念されます。資材や人件費はとどまることなく上昇を続けており、自治体によっては新規事業そのものを凍結する例も出てきています。資材も予定通り供給されないなど公共事業に遅れも聞かれ、今後の動向が心配されます。

日常の町民生活として、交通不便地域の解消には、まだまだ時間を要し令和7年も地域との意見交換の枠を超えられず解消には程遠い。道路の補修、狭あい道路の整備など、取り組みを以前から要望していますが危険と思われる通学路もあり、早期の着手を望みます。

3特別会計については、物価高騰の折、保険料の負担などで家計に厳しい状況ではあるが、おお

むね妥当。

下水道事業会計につきましては、埼玉県での大きな事故もあり全国的にも年月が経過した下水管の入れ替え工事など将来的には懸念はあるが、二宮町での下水管は比較的に年月が若く、現状では心配はないとの見解である。しかしながら、物価高騰対策として雨水貯留槽の設置に補助金三千二百五十万円の予算は反対です。物価高騰対策とはいえ、川への流入量を減らす治水効果をうたっており、各数値など詳細を確認しても、通常の雨量ならば各河川への流入量を一定程度減らせる効果はあるかもしれないが、災害レベルの雨量で葛川での溢水対策とは到底なりえない内容であり、十年補助を続けたとしても効果は見込めない。全額、国の補助金活用とのことであるが、設置できる家庭も、どこでも誰でも出来るわけではなく、限られた利用者だけが恩恵を受ける物価高騰対策にも疑問が残ります。子育て支援などこどもまんなか元年にふさわしい補助金の活用は出来なかったのか残念に思います。

ウクライナ情勢や中東情勢など、国際情勢が不安定化している中、アメリカ合衆国の大統領が変わり世界中に与える影響は大きく、わが日本もその例外ではありません。原油をはじめとする原材料の高騰をはじめ物価上昇が続いています。

また、少子高齢化に伴う、労働力不足が深刻化し、人材の囲い込みも始まっており、公共交通の減便や廃止など日本社会に暗い影を落とし続けています。これらは今後の施設等建設事業などに大きな影響を及ぼす可能性があると考えます。

最後に、執行者には事業・予算の執行精度をより高め、町民の要望や安心安全に応えるべく、町行政にはよりいっそうの努力を期待するとともに、執行者のさらなる工夫と改善を望みます。以上、「令和7年度予算」の討論といたします。